

2023年11月1日

各位

Chordia Therapeutics 株式会社
<https://www.chorditherapeutics.com>

2023年開催の第65回米国血液学会にて
CTX-712の米国第1/2相臨床試験の概要発表の抄録が採択されました

Chordia Therapeutics 株式会社（本社：神奈川県藤沢市、社長：三宅洋）は、当社の急性骨髄性白血病および骨髄異形成症候群の患者を対象とした CTX-712 の第1/2相臨床試験概要について、2023年12月9日から12日まで米国サンディエゴで開催される第65回米国血液学会（ASH）年次総会で抄録が採択され、以下の通り、ポスタープレゼンテーションを実施することが決まりましたので報告いたします。

| | |
|---------|--|
| 抄録番号 | 3249 |
| 演題名 | Phase 1/2 Multicenter, Open-Label Study of CTX-712 in Patients with Relapsed/Refractory Acute Myeloid Leukemia and Higher Risk Myelodysplastic Syndromes |
| セッション番号 | 637 |
| 予定日時 | 2023年12月10日18時から20時 |

急性骨髄性白血病（AML）および骨髄異形成症候群（MDS）について

AML および MDS は、骨髄中で生じた異常クローンが腫瘍性に増殖し、正常造血が抑えられる病気です。本試験の対象となる再発または難治性の AML および MDS は、いずれも 2 次治療における有効な治療法が確立されておらず、予後が極めて不良であり、アンメットメディカルニーズが高い疾患です。

CTX-712 について

CTX-712 は、細胞増殖に重要な役割を果たす RNA スプライシング反応の主要な制御因子である CDC2 様キナーゼ（CLK）に対するファーストインクラスの選択的な経口型の低分子阻害薬です。CTX-712 は、in vitro において様々なヒト腫瘍細胞株に対し増殖抑制効果を示し、in vivo においても複数の異種移植マウスモデルに対する抗腫瘍活性を示します。現在実施されている国内第 1 相臨床試験および米国の第 1 / 2 相臨床試験を実施しています。国内第 1 相臨床試験の詳細は、JapicCTI-184188、米国第 1 / 2 相臨床試験の詳細は clinicaltrials.gov/ (NCT05732103) をご参照ください。



Chordia Therapeutics 株式会社について

当社は、臨床開発品を有するがん領域に特化した研究開発型バイオベンチャーであり、神奈川県藤沢市に拠点を有します。

当社のリードプログラムである CLK 阻害薬 CTX-712 は日本において第 1 相臨床試験、米国において第 1 / 2 相試験を実施中です。CTX-712 はがんの持つ脆弱性を標的としており、有効な治療薬になることが期待されています。当社は、CTX-712 に加え、特定の異常を有するがんに効果が期待される CDK12 阻害薬 CTX-439、GCN2 阻害薬など複数のパイプラインの研究開発を行っています。

本リリースに関するお問い合わせ先

Chordia Therapeutics 株式会社

IR 担当 溝部

ir@chordiatherapeutics.com